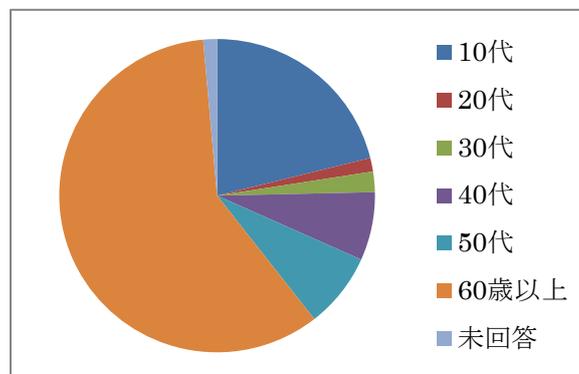


## 『町内の方に対する調査』

### 1 回答者の年齢

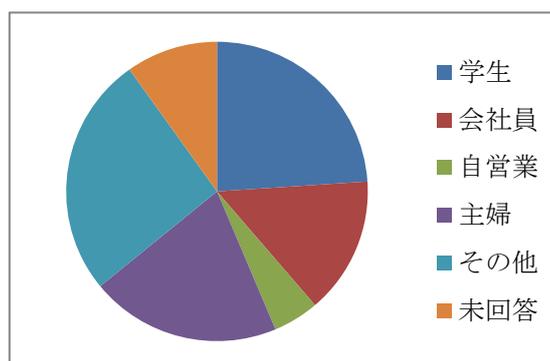
10代	30
20代	2
30代	3
40代	10
50代	11
60歳以上	84
未回答	2



回答者は60歳以上の方が約60%を占める結果となった。次いで10代が多く、最少回答数の20代や30代は全体の約1%にとどまっている等、回答者の年代は偏りがあるといえる。

### 2 回答者の職業

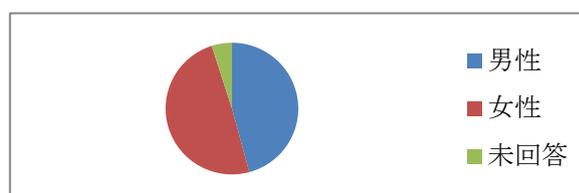
学生	34
会社員	21
自営業	7
主婦	29
その他	37
未回答	14



学生と主婦、その他の回答が多いという結果となった。その他と答えた方には無職の方が多く、定年退職後の方が多くご協力くださったことがうかがえる。

### 3 回答者の性別

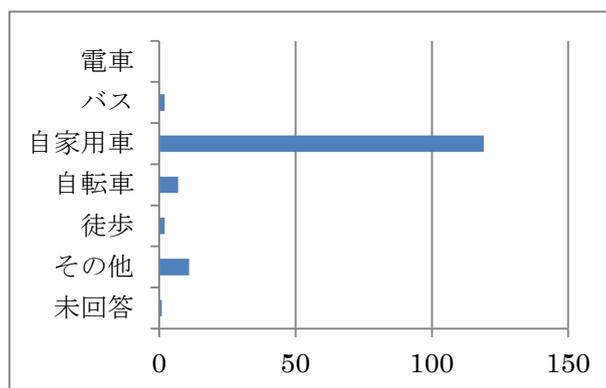
男性	65
女性	70
未回答	7



来町者の男女比は女性の方がやや多かったが、大きく差はなかった。

#### 4 交通手段

電車	0
バス	2
自家用車	119
自転車	7
徒歩	2
その他	11
未回答	1

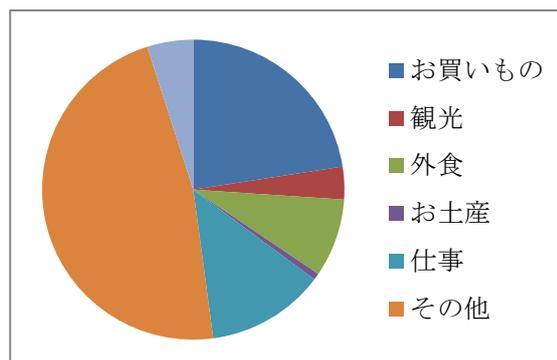


自家用車利用者が約 85%を占める結果となった。上郡町での移動は車が便利であると考えられていることが推測できる。

その他の回答者は、5名がタクシー利用、1名が原付を利用していた。

#### 5 来町の目的（複数回答）

お買い物	32
観光	5
外食	12
お土産	1
仕事	18
その他	67
未回答	7



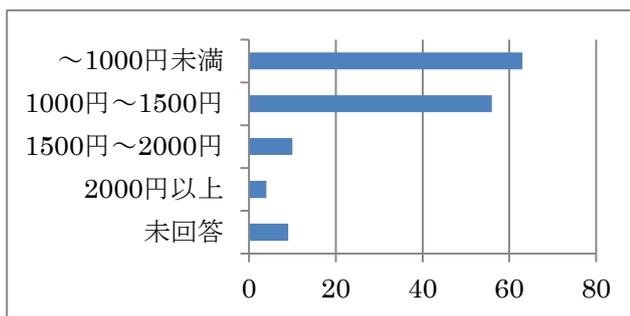
（その他の分類）

鞍居ふるさとまつり	4	歴史講座	13
ゴルフ	2	勾玉作り	12
圭介検定	2	テニス	12
いきいき交流館スタッフ	2	銅鏡作り	6
モロどんを食べに	1	農業	4
来客対応	1	運動会準備	1

お買いものをはじめ、上郡町で様々な過ごし方を行っていることがうかがえる。勾玉作りとテニス、銅鏡作りとの回答者は10代であった。

## 6 昼食の予算

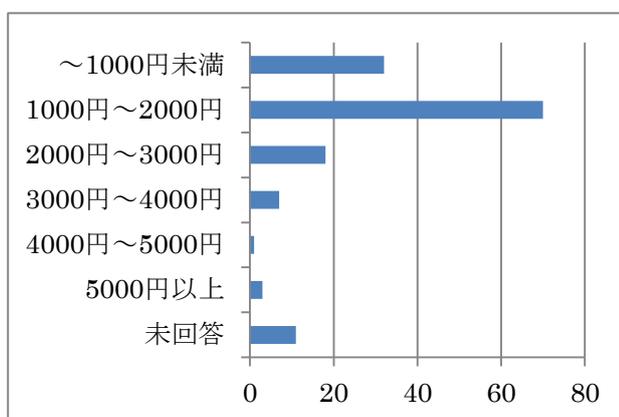
～1000円未満	63
1000円～1500円	56
1500円～2000円	10
2000円以上	4
未回答	9



1000円未満が約45%、1000円以上1500円未満が約40%という結果となった。合算すると、1500円未満で約80%を占める結果である。

## 7 夕食の予算

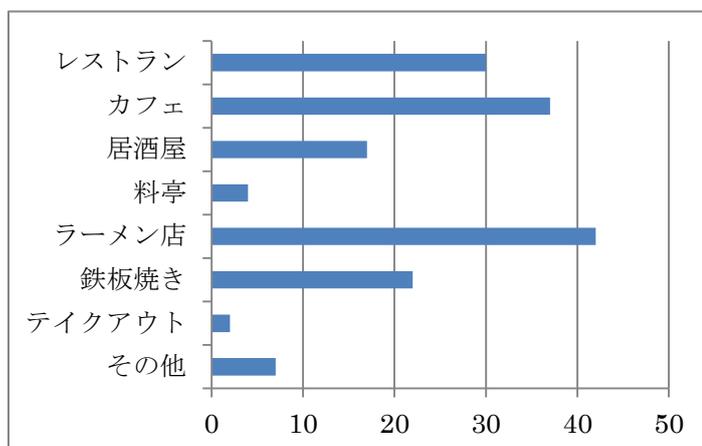
～1000円未満	32
1000円～2000円	70
2000円～3000円	18
3000円～4000円	7
4000円～5000円	1
5000円以上	3
未回答	11



1000円以上2000円未満が約50%、次いで1000円未満が約22%という結果であり、2000円未満の方で全体の約70%を占める結果となった。上郡町在住者の節約志向がうかがえる。

## 8 よく行く外食先（町内）（複数回答）

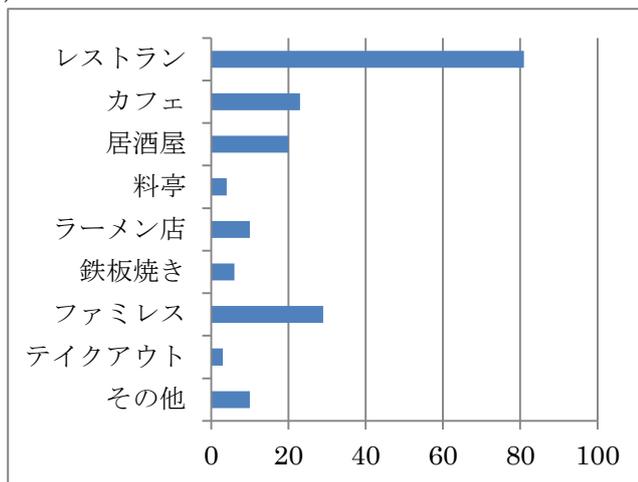
レストラン	30
カフェ	37
居酒屋	17
料亭	4
ラーメン店	42
鉄板焼き	22
テイクアウト	2
その他	7



ラーメン店が回答者数の約 30%、カフェが回答者数の約 25%を占める結果となり、人気の高さがうかがえる。その他の意見のなかに豊源(台湾料理)を挙げた方が 3 名あった。

### 9 よく行く外食先（町外）（複数回答）

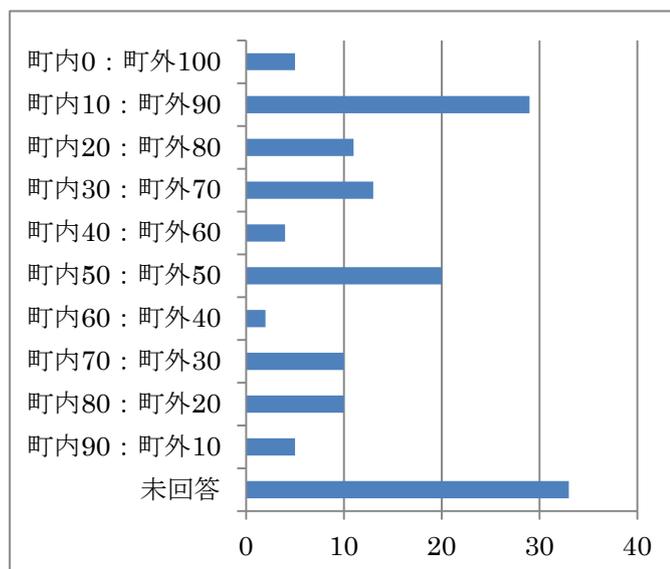
レストラン	81
カフェ	23
居酒屋	20
料亭	4
ラーメン店	10
鉄板焼き	6
ファミレス	29
テイクアウト	3
その他	10



レストランが回答者数の約 60%と多くの回答者の支持を集め、次いでファミレスが約 20%という結果になった。その他の回答には、寿司やファーストフード、ステーキ屋やスナックといった回答があった。

### 10 町内と町外での外食の割合

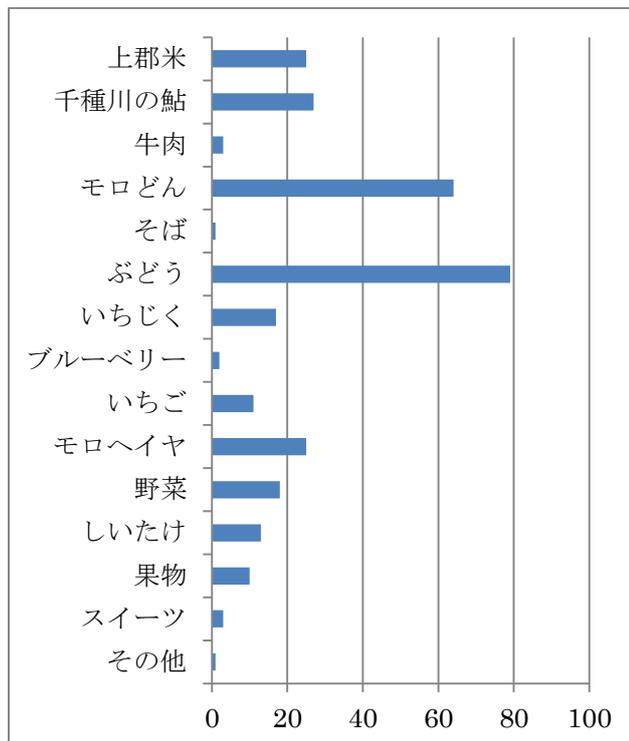
町内 0:町外 100	5
町内 10:町外 90	29
町内 20:町外 80	11
町内 30:町外 70	13
町内 40:町外 60	4
町内 50:町外 50	20
町内 60:町外 40	2
町内 70:町外 30	10
町内 80:町外 20	10
町内 90:町外 10	5
未回答	33



町内 10 対町外 90 との回答が約 20%と最も高く、次いで町内対町外が同程度であるとの回答が約 15%であった。町外で外食する機会が町内を上回るのは約 45%、町内で外食をする機会が町外を上回るのは約 20%であった。

1 1 食べてみたい上郡の特産品（複数回答）

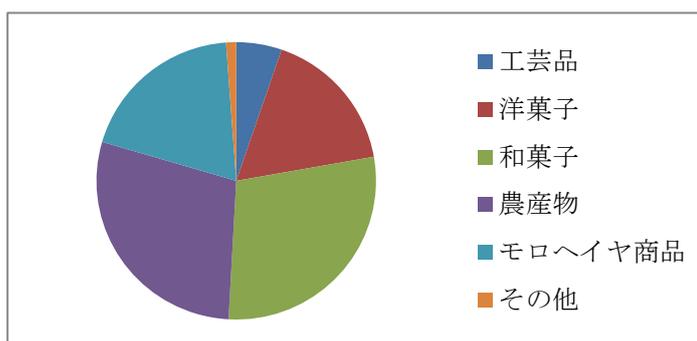
上郡米	25
千種川の鮎	27
牛肉	3
モロどん	64
そば	1
ぶどう	79
いちじく	17
ブルーベリー	2
いちご	11
モロヘイヤ	25
野菜	18
しいたけ	13
果物	10
スイーツ	3
その他	1



回答者の約 55%がぶどうを挙げており、人気の高さがうかがえる。次いでモロどんは約 45%と半数近くの方が挙げており、町民への定着度を感じることができる。千種川の鮎は約 20%と、町内外両方から支持を集めている。その他、坂本梅園の梅との回答もあった。

1 2 欲しいお土産（複数回答）

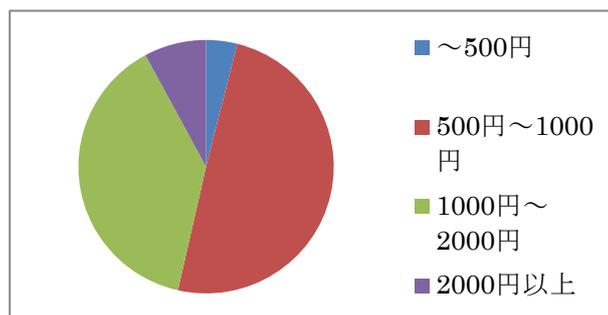
工芸品	9
洋菓子	29
和菓子	49
農産物	49
モロヘイヤ商品	33
その他	2



洋菓子と和菓子が約 35%ずつと同数の票を集め、期待度の高さがうかがえる。

### 1.3 お土産の予算

～500円	5
500円～1000円	63
1000円～2000円	49
2000円以上	10



500円以上1000円未満と回答した方が約45%、次いで1000円以上2000円未満と回答した方が約35%となった。

500円～2000円までの価格帯の商品構成が望まれる。

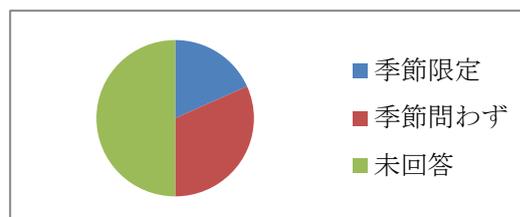
### 1.4 お土産の提案（どのような商品か）

マスコット	1	モロヘイヤを使った冷凍食品	1	モロヘイヤ汁	1
せんべい	1	日持ちする和菓子	1	ぶどうのジュースやお酒	3
いちご	1	円心君の貯金箱	1	モロヘイヤ餃子	1
すいか	1	旨い日本酒	1	モロヘイヤパン	2
いろいろな上郡の香り	1	おしゃれなスイーツ	1	モロヘイヤ団子	1
アユ湯	1	アユ関係	2	ほたるサブレ	1
ストラップ	1	竹細工	1	クリアファイル	1
文房具	1	ぶどう大福	1	モロヘイヤ色のスカーフ	1
勾玉	2	イチゴ大福	1	梅干し	1
キーホルダー	5	自然木作品	1		
もろまんじゅう	1	ほたるクッキー	1		
勾玉作りセット	2	ほたるまんじゅう	1		

モロヘイヤ関連の商品をはじめ、様々な商品の提案があった。

### 1.5 お土産の商品提案（詳細）

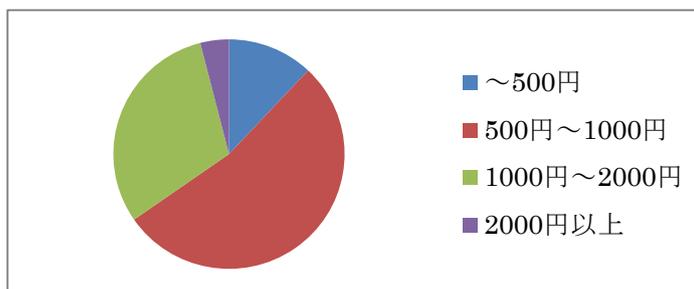
季節限定	26
季節問わず	45
未回答	71



約30%の回答者が季節を問わないお土産を希望しているという結果であった。

1 6 お土産の商品提案（価格帯）

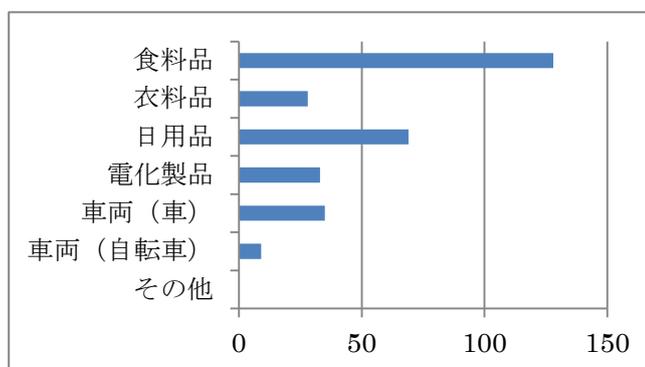
～500 円	9
500 円～1000 円	40
1000 円～2000 円	23
2000 円以上	3



総回答数は約 50%であった。その中の約 50%の方が 500 円以上 1000 円未満の価格帯を希望しているという結果となった。

1 7 町内での買い物（複数回答）

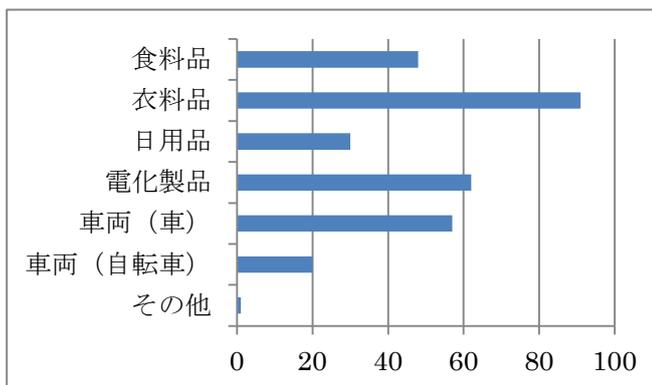
食料品	128
衣料品	28
日用品	69
電化製品	33
車両（車）	35
車両（自転車）	9
その他	0



約 90%の方が町内で食料品を購入しており、約 50%の方が町内で日用品を購入しているという結果になった。しかしながら衣料品は約 20%、自転車は約 5%の町内購入率となっている。

1 8 町外での買い物（複数回答）

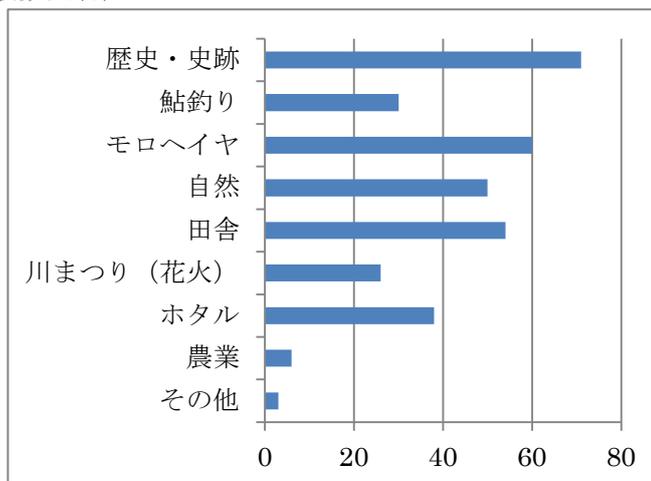
食料品	48
衣料品	91
日用品	30
電化製品	62
車両（車）	57
車両（自転車）	20
その他	1



約 65%の方が町外で衣料品を購入しており、約 45%の方が電化製品を購入しているという結果になった。

19 上郡と聞いて連想するもの（複数回答）

歴史・史跡	71
鮎釣り	30
モロヘイヤ	60
自然	50
田舎	54
川まつり(花火)	26
ホタル	38
農業	6
その他	3



歴史・史跡を挙げた方が回答者の半数と、町民が先人から受け継いだものを大事にしている姿勢がうかがえる。次いでモロヘイヤが回答者の約40%となっており、特産品としてモロヘイヤが根付いているといえる。その他には、円心くんとエイトちゃん、兵庫県の端っこであるといった回答があった。

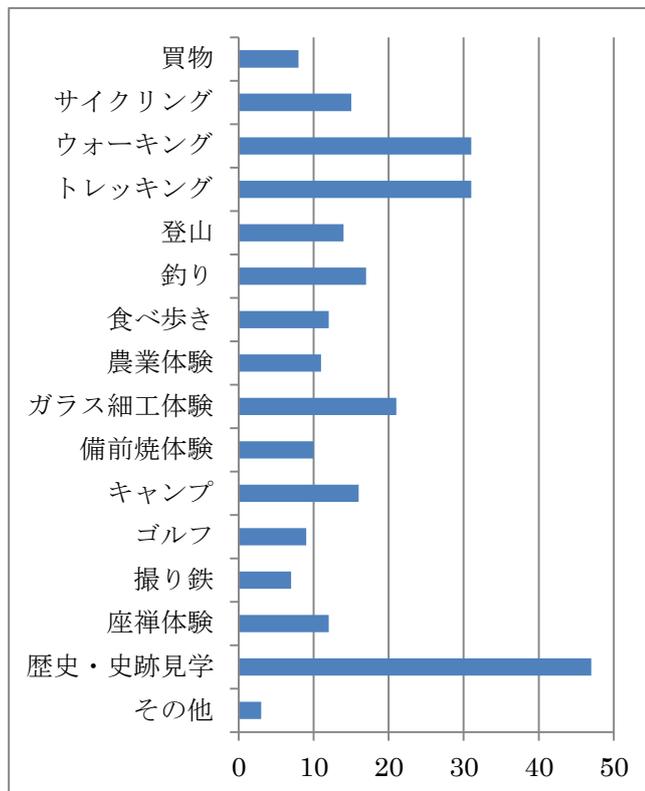
20 「一押し」（複数回答）

桜	6	千種川	15	登りやすい山城群	1
以前の千種川	1	白旗城	6	JA 辺りのにぎやかな場所	1
自然	6	ヨットのぶた	1	お米がおいしい	1
上郡アルプス	4	赤松円心	5	平家伝説の歌	1
高嶺神社	1	大鳥圭介	11	華蔵寺	1
歴史	5	ホタル	5	史跡	1
人柄	2	モロヘイヤ	2	船越峠にまつわる 歴史・児島高德伝説	1
空気がおいしい	2	ぶどう	4	牡丹寺	1
金出地ダム	3	圭介まつり	3	駅	2
赤松	2	ピュアランド	2	高田地区の朝霧	1
静かなところ	2	法雲寺	1	郷土資料館	2
カブトムシがとれるところ	1	鎧兜	1		
モロヘイヤ	3	白旗城まつり	1		
観光案内所	1	東蔵	1		
勾玉	1	スポーツセンター	1		

千種川や偉人等歴史を挙げる方が多いという結果となった。

## 2.1 やってみたいこと（複数回答）

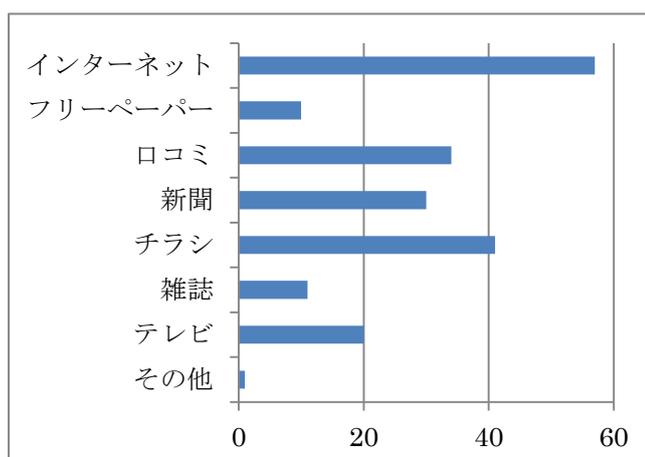
買物	8
サイクリング	15
ウォーキング	31
トレッキング	31
登山	14
釣り	17
食べ歩き	12
農業体験	11
ガラス細工体験	21
備前焼体験	10
キャンプ	16
ゴルフ	9
撮り鉄	7
座禅体験	12
歴史・史跡見学	47
その他	3



回答者の約30%が歴史・史跡見学を挙げ、この項目からも歴史・史跡の人気の高さがうかがえる。また、ウォーキングとトレッキングも約20%と同数の得票があり、健康志向であると考えられる。その他の意見として、「農業体験で他の地域の方を呼び込みたい」「のんびりしたい」「ブドウ作りをしてみたい」といったものがあった。

## 2.2 情報収集の方法（複数回答）

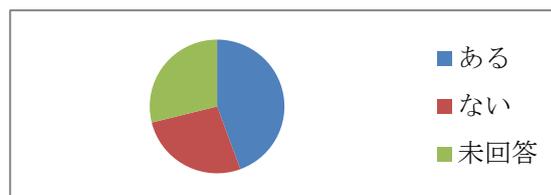
インターネット	57
フリーペーパー	10
口コミ	34
新聞	30
チラシ	41
雑誌	11
テレビ	20
その他	1



約40%の方がインターネットを使って情報収集を行っているという結果となった。その他には旅行会社のダイレクトメールとの記入があった。

### 2.3 上郡町に住んで不便に感じますか

ある	63
ない	38
未回答	41



有効回答のうち約60%が「ある」と回答、「ない」を上回った。

### 2.4 不便な理由

交通(主に電車)	30	日常で必要なものが町内では揃わない	1	徒歩圏内に店舗がない	1
交通(バス)	16	商店が1点に集中しすぎている	1	企業誘致	1
総合医療	11	あいのり号がなくなったら困る	1	携帯電話の電波	1
商店が少ない	6	各地域への周廻道路がない	1	若者の雇用	1
中学校の給食がないこと	1	日曜日のバスの便がないこと	1	文化施設	1
飲食店が少ない	6				
図書館の規模が小さい	2				
車に乗らないと不便が多い	4				

- 他の市町から来られた人に満足感を与え、リピーターを増やしてほしい
  - JR 本線であるのに乗り換えがあることが不便
  - 上郡でしか手に入らないものをお土産に欲しい
  - 登山しにくいので白旗城の道をもっと歩きやすくしてほしい
  - 現在は車の運転が出来る為何の不自由も感じませんが、運転ができなくなった場合の生活に不安を感じています
  - 20人以上入って食事出来る所が少ない。他市町では送迎無料であり、やむを得ず町外へ出ている
  - 駐車場が20台以上ある中華レストランを以前から願っていた
  - ラーメン・焼き飯・餃子にモロヘイヤの葉を使ったらどうなるか気になる
  - 不便さはないのですが、若者がおらず地域の行事ができなくなっている
  - 車を持っていないので、赤松方面に行きにくい
- といった意見があった。